

第14回社会鍼灸学研究会

2019

これからの社会と

新たな日本鍼灸の形を求めて

会期

2018年8月3日(土)

2018年8月4日(日)

会場

筑波技術大学春日キャンパス

主催：社会鍼灸学研究会



20世紀後半から21世紀に初頭に向け、欧米やアジア各国の経済や文化の状況は大きく変わりました。同時に、人々の健康状態も変化し、医療には、疾病を対象とする視点から病を癒す視点、病を生まない生活のあり方を考える視点が求められる様になってきています。

一方、日本鍼灸界は、1998年の福岡裁判を経て、学校新設や定員増により多くの鍼灸師が排出され、構造が大きく変化しました。しかし、鍼灸医療が内包するすぐれた視点が現在の医療に求められていながら、未だ、鍼灸はそれを臨床現場に活かせていない現状です。

しかし、この20年を経る中で、20世紀までの鍼灸のあり方を改善していこうとする動きが見えてきています。そこで、今年の世界鍼灸学研究会は、新たな鍼灸のあり方を模索する会や個人の実情を踏まえ、新しい鍼灸の形を検討したいと考えています。

第14回 社会鍼灸学研究会 2019

プログラム

8月3日(土) 午前12時から 受付開始：11：30～

I. 社会鍼灸学研究の発表会

司会・進行：形井秀一、小野直哉

11：50；「開会の挨拶」

形井秀一：筑波技術大学名誉教授、洞峰パーク鍼灸院院長

12:00～12：35 「按摩単行法」－占領下の幻の法案－

奥津 貴子：呉竹鍼灸柔整専門学校

12:35～13：10 お灸残酷物語－灸の罰の歴史から「灸をすえる」を考える－

舟木 宏直：京都仏眼鍼灸理療専門学校、佛教大学大学院文学研究科歴史学専攻

13:10～13：45 災害鍼灸の意義と課題-AMDAにおける医療支援活動の現場から-

小林 大祐：はな鍼灸整骨院

13:45；休憩

14:00～14：35 国会会議録中にみる「あはき」の議論調査

～元参議院議員 小林勝馬に焦点を当てて～

森 一也：京都仏眼鍼灸理療専門学校、中央大学法学部

14:35～15：10 令和元年5月23日に櫻井充参議院議員により提出された質問

第62号に対する答弁書番号第62号について（仮題）

坂部 昌明：特定非営利活動法人ミライディア

15:10～15：45 地域包括ケアシステムにおける鍼灸と多職種連携に関する調査

－鍼灸師が連携するための課題と解決法

柏原 修一：福島県鍼灸師会 地域医療推進委員会

和辻 直：明治国際医療大学 鍼灸学部 はり・きゅう学講座

15:45；休憩

15:55～16：30 私たちが模索する新しい代替医療としての鍼灸～オルソグ実践会の試み～

小川 貴司：小川鍼灸整骨院 森ノ宮医療大学鍼灸情報センター

16:30～17：05 鍼灸治療における「多様性」のもつ意義についての検討

伊藤 康文：新潟大学大学院 現代社会文化研究科 博士後期課程

17:05；終了

18：30～20：30 …… 交流会（場所未定、会場周辺予定）

8月4日(日) 午前10時00分～午後4時20分 9：30～受付

これからの社会と新たな日本鍼灸の形を求めて

午前の部 司会・進行：形井秀一、小野 直哉

10：00～10：05

「開会の挨拶」

形井秀一：筑波技術大学名誉教授、洞峰パーク鍼灸院院長

10：05～11：05（発表45分、討論15分）

日本鍼灸が置かれている社会状況

小野直哉：公益財団法人 未来工学研究所

11：05～11：40（発表35分、討論5分）

「日本鍼灸の現在と形」を探る

形井秀一：筑波技術大学名誉教授、洞峰パーク鍼灸院院長

11：40～12：20（発表30分、討論10分）

平成26年度全国あはき法人事業所の業態に関する調査結果

藤井亮輔：筑波技術大学

12：20～12：40

- ・社会鍼灸学研究会平成30年度事業報告、
- ・記念写真撮影

12：40～13：40 昼食

午後の部

司会・進行：形井秀一、小野 直哉

13：40～14：20（発表30分、討論10分）

災害復興におけるコミュニティ作りと鍼灸

嶺聡一郎：社会鍼灸学研究会、鍼灸地域支援ネットワーク、首都医校

14：20～15：45（発表70分、討論15分）；発表：英語<日本語通訳予定>

The Characteristics of Japanese Acupuncture

ベンジャミン・チャント

15：45～15：55 休憩

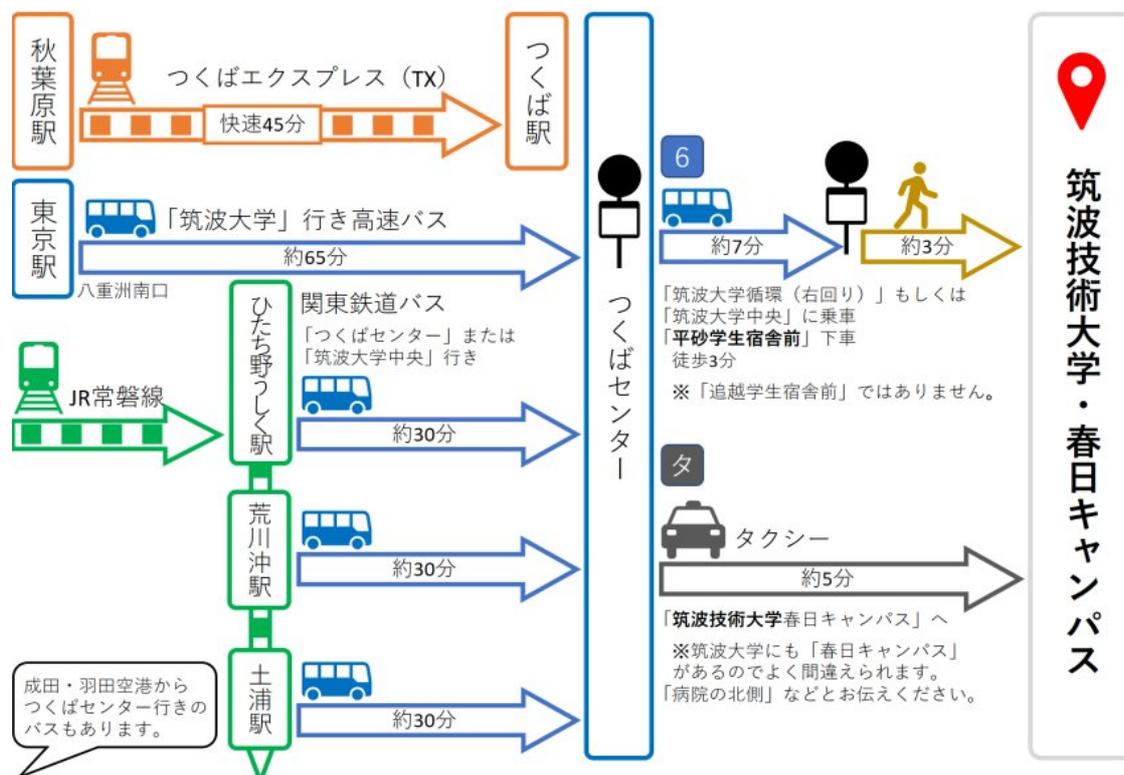
15：55～16：30 総合討論

17：00～19：00・・・懇親会（場所未定、会場周辺予定）

第14回社会鍼灸学研究会開催要項

1. 会場・受付

筑波技術大学 春日キャンパス 講堂 (茨城県つくば市春日4-12-7)



2. 参加費

会 員；事前振込3,000円 当日 4,000円

非会員；事前振込9,000円 当日10,000円

※交流会費、懇親会費は別途(5,000円)

※両日参加、1日参加ともに参加費は変わりません。

※納入頂いた参加費の返金には応じられません。

* 下記振込口座に、送金下さい。

3. 第14回研究会参加申込方法について

・ 下記フォームからお申し込みください。

PCからの申し込みは <https://ws.formzu.net/fgen/S62772168/>

スマホからの申し込み <https://ws.formzu.net/sfgen/S62772168/>

・ どうしても上記フォームから申し込めない場合は、参加申込書にご記入の上、e-メールに添付してfssam@outlook.jpまでお送りください。

・ 申込締切：7月31日(水)

4. 年会費（会員5,000円・学生会員3,000円）の振り込みについて

1. 会員の方で、2019年度の会費を未納の方は、下記口座へ納入をお願いいたします。

また、新規入会をご希望の方も年会費をお振込いただくと、2019年度会員となり、参加費は3,000円となります。

※納入頂いた年会費の返金には応じられません。

5. 連絡先

社会鍼灸学研究会

〈事務局〉〒214-0035 神奈川県川崎市多摩区栗谷4-10-10-101 嶺 聡一郎

[〈E-mail〉fssam@outlook.jp](mailto:fssam@outlook.jp)

〈当日緊急連絡先〉 080-6616-4563(嶺)

社会鍼灸学研究会ホームページ：<http://www.doho-acu-moxa.com/fssam/>

6. 参加費・会費振込先

〈ゆうちょ銀行からお振込の場合〉

銀行名；ゆうちょ銀行

口座名；社会鍼灸学研究会（シャカイシンキュウガクケンキュウカイ）

記 号；1 0 1 1 0

番 号；9 1 5 9 7 8 1 1

〈ゆうちょ銀行以外からお振込の場合〉

店名；0一八

店番；018

預金種目；普通

口座番号；9 1 5 9 7 8 1

*会場周辺に飲食店がありませんので、昼食は各自でご用意をお願いします。

第14回 社会鍼灸学研究会 2019

参加申し込み用紙

2019年 月 日記入

氏名	
会員・非会員	会員、非会員 新規入会 (○を付けて下さい)
住 所 (会員は住所変更時のみ)	〒
連絡先電話番号	自宅・携帯：
メールアドレス	
所属	
所属先電話番号	
所属先メールアドレス	

会費、参加費振込書

振込予定日 2019年 月 日

氏名：	
*参加日程、振込頂いた項目に○をつけてください	
参加の有無	8/3 (土)、8/4 (日)
年会費 (会員) ￥5000-	
参加費 (会員) ￥3000	
参加費 (非会員) ￥9000	
交流会費 (1日目) ￥5000-	
懇親会費 (2日目) ￥5000-	
合計	¥